

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	岡田保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 23 年 3 月 16 日

総 評	<p>昭和63年4月に旧岡田保育園と岡田下保育所が合併し、公設民営としてスタートした、地域が運営する保育園です。舞鶴市の西に位置し、由良川沿いの少子高齢化・過疎化が進む地域にあります。</p> <p>そのような環境の中で、地域とのかかわりを重視しており、子育てステーション事業による絵本の読み聞かせやリトミック、園庭開放の実施や、夏祭りや運動会などを地域関係者の協力を得ながら開催するなど、地域から「愛される保育園」を目標に、その役割を果たしています。</p> <p>小集団の良さを生かした園児と保育士の丁寧なかかわりあいや、ゆるやかな異年齢交流などを大切に考えています。また絵画や、野菜栽培から経験するクッキングなど、子どもたちが様々な体験が出来るよう取り組んでいます。</p> <p>広いスペースを有効に利用し、ゆったりとした雰囲気の中で、子ども一人ひとりが伸び伸びと保育園生活を送っています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園に隣接する「岡田子ども農園」で、野菜、芋類、豆類を栽培し、特に大豆から味噌作りなど、種まきから栽培、収穫、それらの素材を生かした調理や食事などの体験が出来るよう食育を推進しています。 ・ 専門講師による絵画指導を行っています。作品は、地域の古民家にも「小さな絵画展」として展覧しています。また、広い保育室を有効に利用したコーナー保育を実施し、子どもたちの遊びの継続性を大切にしています。 ・ 地域と密接にかかわり地域子育てステーション事業や、地域の区長事務所や駐在所、デイサービス、保健ボランティア宅などに園児がお花を届ける「花の日保育」、運動遊びやリトミックの公開保育を実施するなど、施設機能の地域還元に努めています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に関する情報を、所定の様式により記録・管理しています。今後は、記述内容には一貫性が持てるようモデルを示し、必要な情報が的確に共有できるような仕組みを整備されることが望ましいでしょう。 ・ 事故や災害、不審者の侵入に対する簡単なマニュアルは整備していますが、より地域性にそったものを作成し、研修・訓練を行うとともに対応策を具体的に作成されることが望ましいでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	B
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	B	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	B
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育園の理念、それに基づく保育方針、保育目標を明文化し、園のしおりへの記載や、園内に掲示し、保護者への周知を図っています。今後は、会議等で職員に理念が十分に理解されるよう定期的な取り組みを実施されることが望ましいでしょう。

・保育課程や年間指導計画、短期指導計画が園の方針に基づき、編成・作成されています。また、その実施内容を定期的に評価・反省しています。今後は、それらの反省を次に生かされることが望ましいでしょう。

・管理者は、過疎化の進む地域に対し平成20年より園バス送迎を実施するなど、保育園運営事業計画を毎年策定し地域のニーズ把握に努め、園運営に反映されています。

・園長、主任は協働し、園運営に対してその役割と責任を全うしています。

・行政からの伝達事項をリスト化するなど、法令等が職員に周知・把握されるよう努めることが望ましいでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

・管理者は、職員の就業状況や意向に対し、年休管理表などの把握や園長・主任が窓口となる面接を実施しています。少子化の進む地域性を考慮に入れ、退職者の非常勤再雇用など柔軟な運営を心がけています。

・定期的に職員の面談日を設けるなど、職員が相談しやすい工夫されることが望ましいでしょう。

・研修は、年間計画に沿って、職員が望む内容を中心に実施しています。

・実習生やボランティアを積極的に受入れています。

・地域とのかかわりを大切にしています。園庭開放や、地域子育てステーションとして積極的に取り組み、月2回の実施、多いときで20組ほどの親子が参加しています。法人役員も、全て地域の代表者が担っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・職員は、個人情報に留意し保育に取り組んでいますが、規定・マニュアル等を施設に沿った内容にするなど工夫し、より組織的に取り組まれることが望ましいでしょう。

・苦情解決の仕組みを整備し、その内容を保護者に明示しています。今後は、苦情や要望などの内容を記録し、対応策の検討などに繋げることが望ましいでしょう。

・定期的に第三者評価を受診し、事業内容に反映されるよう取り組んでいます。今後は、年に1回以上自己評価を実施し職員相互の話し合いを通じて質の向上の課題を明確にするとともに、それを踏まえて保育内容の改善に生かされることが望ましいでしょう。

・利用者に関する情報を、所定の様式により記録・管理しています。今後は、記述内容のモデルを示し、必要な情報が的確に共有できるような仕組みを整備されることが望ましいでしょう。

・保育内容や諸経費などを記載したパンフレットを、行政機関等に配置し、情報提供に努めています。また、見学も随時受け付けています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	B	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

・子どもの様子は、登園時から降園まで、「伝達・お知らせノート」や「出席状況表」により職員間で共有されています。

・感染症発生時に対応するマニュアルを整備し、登園許可証などの仕組みを整備し、感染防止に努めています。

・食事を楽しむ工夫に積極的に取り組んでいます。岡田子ども農園が隣接しており、種から収穫、調理まで体験できます。あずき栽培や味噌づくりなど、クッキング計画表に沿って実施しています。保護者には、試食会を開催し、離乳食の指導や食材などに対する思いを伝えています。

・アレルギー疾患を持つ子どもには、医師の指示のもと、代替食を提供しています。

・定員に対して、余裕のあるスペースを有効に利用し、様々なコーナー保育や、畳スペースなどがあり、ゆったりと落ち着いた雰囲気です。壁面には、園児による絵画を掲示するなど、明るい印象です。

・園児数60名という小規模保育所の特性を生かして、同年齢の活動に加えて異年齢の活動を多く取り入れていています。全ての職員が、全園児とかかわりを持っています。

・0・1歳児は、乳児連絡ノートを毎日の保護者との情報交換として取り入れていています。それらは複写式で、職員も記録として、保育に生かしています。2歳以上児についても、連絡帳があります。乳児保育の環境が整備され、内容・方法ともに配慮されています。さらに、どの保育士でも均質化できる仕組みを整備することが望ましいでしょう。

・園外保育では、自然に恵まれた環境を利用し、水路の生き物の観察や、木の実、花などを造形表現に取り入れ、活用しています。

・絵画、リトミック、運動あそび、絵本の読み聞かせなど、様々な表現活動ができるよう取り組んでいます。

・障がい児保育は、舞鶴にじいろ個別発達支援事業により、個別発達支援計画やサポートマップ(人的・物的関係図)などを作成し、専門機関との連携を含め取り組んでいます。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・個別面談は、年長児は年2回、年中児は年1回、それ以外の年齢も定期的に面談をすることが望ましいでしょう。
- ・保育参観や運動会、遠足などの行事では、保護者が参加しやすいプログラムを考慮・実施し、保育の雰囲気や共通理解を得られる取り組みを行っています。
- ・観察記録や健康記録など、子ども1人ひとりの記録が整備されています。
- ・一時保育は、舞鶴市の規定により一日2名まで預かっています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

- ・衛生管理点検表、調理における点検表、食品過熱加工の記録、施設点検表など調理場関係のマニュアルが整備され、しっかりと実施・記録されています。
- ・食中毒や事故防止のマニュアル、遊具点検チェックリストがあり、毎日の確認等を含め対応しています。
- ・事故や災害、不審者の侵入に対する簡単なマニュアルは整備していますが、より地域性にそったものを作成し、研修などを実施されることが望ましいでしょう。